

○ 別表 （学部学科、研究科の専攻等）

学部の学科、研究科の専攻等名	収容定員	収容数	定員充足率
	(a) (人)	(b) (人)	(b)/(a) × 100 (%)
< 工芸学部 >			
機械システム工学科			
昼間コース	332	396	119.28
夜間主コース（うち10人は3年次編入学）	110	137	124.55
電子情報工学科			
昼間コース	448	527	117.63
夜間主コース（うち10人は3年次編入学）	130	164	126.15
物質工学科			
昼間コース	332	373	112.35
夜間主コース（うち10人は3年次編入学）	90	120	133.33
造形工学科			
昼間コース	428	482	112.62
夜間主コース（うち10人は3年次編入学）	70	91	130.00
学部共通（3年次編入学）			
昼間コース	20	-	-
< 繊維学部 >			
応用生物学科			
昼間コース	228	246	107.89
夜間主コース	80	94	117.50
高分子学科			
昼間コース	360	419	116.39
夜間主コース	60	79	131.67
デザイン経営工学科			
昼間コース	112	136	121.43
夜間主コース	40	53	132.50
学部共通（3年次編入学）			
昼間コース	20	-	-
夜間主コース	20	-	-
学士課程 計	2880	3317	115.17

学部の学科、研究科の専攻等名	収容定員	収容数	定員充足率
< 工芸科学研究科 >			
機械システム工学専攻〔修士課程〕	68	129	189.71
電子情報工学専攻〔修士課程〕	80	142	177.50
物質工学専攻〔修士課程〕	84	130	154.76
造形工学専攻〔修士課程〕	64	114	178.13
建築設計学専攻〔修士課程〕	30	48	160.00
応用生物学専攻〔修士課程〕	68	85	125.00
高分子学専攻〔修士課程〕	68	114	167.65
デザイン経営工学専攻〔修士課程〕	20	38	190.00
先端ファイブロ科学専攻〔修士課程〕	44	99	225.00
修士課程 計	526	899	170.91
機能科学専攻〔博士課程〕	51	93	182.35
材料科学専攻〔博士課程〕	30	18	60.00
情報・生産科学専攻〔博士課程〕	27	27	100.00
先端ファイブロ科学専攻〔博士課程〕	30	39	130.00
博士課程 計	138	177	128.26

○ 計画の実施状況等

（１）学部課程

学部課程の各学科の定員充足率は、昼間コースで+8%～+21%、夜間主コースで+18%～+33%となっており、全ての学科・コースで収容定員を充足している。なお、収容数が収容定員を15%以上超過している主な理由は、単位不足による留年生の比率が高いことによるもので、1～4年次生については、学科間で若干のバラツキはあるものの、昼間コースは7学科平均で+6%、夜間主コースは7学科平均で+8%であり妥当な人数となっている。

（２）大学院博士前期課程（修士課程）

大学院博士前期課程（修士課程）の定員充足率は、全専攻で+71%と収容定員を大きく上回っている。この理由は、最近の入学者の漸増によるもので、学生の進学意欲に応えるために教育研究に支障を来さない範囲で受け入れていることによる。なお、平成18年度から実施する教育研究組織の改組・再編において、博士前

期課程の質的、量的充実を図るため、9専攻を12専攻に再編整備し、入学定員を82名増員することとしている。

(参考)最近の入学志願状況

平成14年度	入学定員258人	入学志願者数544人	2.11倍
平成15年度	入学定員258人	入学志願者数594人	2.30倍
平成16年度	入学定員263人	入学志願者数610人	2.32倍
平成17年度	入学定員263人	入学志願者数614人	2.33倍

(3)大学院博士後期課程(博士課程)

大学院博士後期課程(博士課程)の定員充足率は、専攻によりかなり差はあるが全専攻で+28%であり、後期課程全体で収容定員を充足している。収容数が収容定員を15%以上超過している主な理由は、学位論文作成遅延による留年が影響しているもので、1年次～3年次生の充足率は99%である。